

## 令和3（2021）年度 部局マネジメント方針

### 学校教育部長

いのもと ひでひこ  
岩本 秀彦



### 私の決意（仕事に対する基本姿勢及び部局の取り組み方針）

令和2年度に、GIGAスクール構想で子ども達1人1台の情報端末（iPad）と通信環境が整備され、本年度はその教育ICTを活用した、子ども達の「新しい学び」がスタートします。

以前、政府広報CMのSociety5.0についての広報で、「それは、いつもの毎日にやってくる。半歩先の未来。」というタイトルの映像を見ました。そこには、ドローンが宅配便を運んでくるシーンや、無人の路線バスが走っている映像が映っていました。そしてそれは「20XX年」となっていました。

世界は今Society5.0に向かって凄い速さで進んでいます。AI（人工知能）、IoT、ビッグデータ、ロボットなど、私たちが気づかないところで日々変革が起きており、広報CMの映像に映し出されている光景は、すぐそこに来ていて、すぐ現実のものになります。

このようなことは10年前には想像できませんでした。ましてや今、本市の市立学校園で学校園生活を送っている子ども達の10年後や20年後はどんな社会になっているのか、急速に発展していく今の世界では誰も想像できません。

学校教育部では、子ども達一人ひとりが、新たなICT環境の中で自ら学ぶ力を育み、予測不能な未来を生き抜いていく力を付けられるよう、2019年度の幼稚園教育要領実施を皮切りに2020年度から順次始まった新しい学習指導要領の柱となっている、『主体的・対話的で深い学び』を、全ての職員と教職員が理解し、あらゆる学校教育活動で実践されるようSDGsのゴール4も意識し進めてまいります。